

## I 4・5月の連盟・日本連盟事業 ※会議等は除く

月 日	名 称	主 催	内 容
4/1(土)	第8回安全危機管理研修基本	指導者養成委員会	事故に至らないような安全の管理、事故が起きた時の対処などの修得を目的とします。
4/1(土)～ 4/2(日)	25WSJ 派遣隊事前訓練・結隊式	25WSJ派遣隊	土浦市青少年の家 結隊式 4/2(日)13:30～予定
4/2(日)	第75回ボーイスカウト講習会	日本連盟	指導者導入訓練。スカウト教育の原理と基本的な方法について体験を通して知ってもらう
4/9(日)	WB 研修所スカウトコースを100%楽しむスキル講座	指導者養成委員会	WB 研修所スカウトコース参加者を支援するための研修です。
4/29(土)～ 30(日)	25WSJ 派遣隊第2回事前訓練	25WSJ派遣隊	土浦市青少年の家
5/3(水)～ 6(土)	第7回 WB 研修所スカウトコース(基本型)	日本連盟	実行によってまなぶ、班の一員となって活動する事を実体験することで、スカウト教育に関する基本的なことを修得します。
5/27(土)～ 18(日)	日本連盟全国大会	日本連盟	岡山県岡山市岡山シンフォニーホール テーマ 晴れの国おかやまから、新しい一歩

## II 事務局からのお知らせ

### (1) 70周年記念誌の販売について

ボーイスカウト茨城県連盟70周年を記念して、70周年記念誌を発行しました。各団には「茨城県連盟創立70周年記念」としてUSBで配付しています。個人での購入を希望される方は、県連事務局へメールまたはFAXでお申し込みください。印刷された冊子または記念誌と記念事業の関連データが収録されたUSBメモリをお選びいただけます。下記の書式を参考にお申し込みください。

注文者及び送付先	
氏 名	
郵便番号	
住 所	
連絡先電話番号	

注文内容	単価(円)	数量	金額(円)
70周年記念誌(冊子)	10,000		
70周年記念誌(USB)	1,500		
		合計	

【申込先】ボーイスカウト茨城県連盟事務局

E-mail [ibaraki@scout-ib.net](mailto:ibaraki@scout-ib.net) FAX 029-224-3773

## (2) 2023 年度全国大会

ボーイスカウト日本連盟全国大会が、5月に開催されます。Scouting誌3月号に開催概要が掲載されています。どなたでも参加できる大会ですので、ぜひ参加をご検討ください。参加を希望される方は県連事務局までご一報をお願いします。

## Ⅲ コミッショナーよりのお知らせ

### (1) 制服の記章について

制服につける記章については着用期間があります。着用期間を過ぎた記章は、外して記念として大切に保管するようスカウトにご指導ください。

- ①日本連盟創立 100 記念章（左ポケットの上方）
  - ・着用期間 平成 30 年 1 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日
- ②大会章・記念章（県連盟創立〇年記念章など）（右ポケット）
  - ・着用期間 発行日から 1 年以内（教育規程 9-10）
  - ※発行日が明確に示せないことから、大会章の着用は年度末までとします。

日本連盟創立 100 周年記念章（2023 年 3 月まで）・茨城県連盟創立 70 周年記念章（2022 年 3 月まで）は取り外しましょう。

### (2) I B-G P 県大会報告

3月19日(日)にI B-G P県大会が笠間陶芸の森公園野外コンサート広場で開催されました。参加者はスカウト119名、指導者99名、保護者70名、合計278名で、久しぶりの大きな大会となりました。晴天にも恵まれ、暖かい春の日差しの中、自前の応援旗を用意したり、スカウトたちも指導者も競技を楽しんでいました。保護者の方も、他団のスカウトのカートに感心したり、自分の子どものレースをカメラにおさめるなど、楽しんでいただけたと思います。回を重ねるごとにカートもバージョンアップされ、デザインを極めるカート、速さを極めるカートなど、毎年開催の効果が出てきました。なにより、多くのスカウトが集う大会に参加したことは、日々の活動のモチベーションアップにつながると思います。来年度は、さらに多くの団・隊が参加して欲しいと思います。





◆受賞者紹介◆

	区分	順位	所属団	氏名	カート名
競技	Bクラス	優勝	日立8団	佐藤 颯祐	ムーンスター
		準優勝	守谷1団	熊耳 純之介	カミナリカー
		第3位	水戸2団	鈴木 陽也	サンカート号
	Cクラス	優勝	水戸5団	木村 帆那	H807号
		準優勝	つくば3団	畑山 起槻	ウィングジェット号
		第3位	龍ヶ崎1団	大友 方晴	MASA号
デザイン	グッドデザイン賞	金賞	つくば3団	小田切 智靖	T-51号
		銀賞	神栖1団	佐藤 敢太	動物のパーティー号
		銅賞	水戸5団	木村 帆那	H807号
	アイデア賞	金賞	つくば3団	豊田 千紘	かえる神社号
		銀賞	守谷1団	高須 小桜子	キャンプファイヤー号
		銅賞	ひたちなか1団	大森 博喜	サメのかたちのダイヤモンド号
	ベストカラーリング賞	金賞	つくば3団	久松 蓮	猫の花屋さん号
		銀賞	ひたちなか1団	永井 梗太郎	犬号
		銅賞	つくば1団	萩原 裕也	カラフルサンダー号
	連盟長賞		日立5団	割貝 珠樹	転生したらスライムに食べられる宝箱になった号
	理事長賞		牛久1団	吉田 旺輔	スーパーモグリン1号
	県コミッショナー賞		ひたちなか1団	石川 仁菜	野営号

## IV 各種委員会よりのお知らせ

### (1) プログラム委員会

① ベンチャーラリー2022 について

「いかだで川下り」

内容：那珂川の御前山～ひたちなか間 30km を手作りの筏で下る企画です。

時期：8月26～28日（予備日 9月16～18日）

多くのベンチャースカウトのチャレンジを待っています。

② 2023 年度技能章考査員がきました。

2023 年度の技能章考査員の委嘱が承認されましたので、近日中にお知らせいたします。

技能章の獲得にどんどんチャレンジしてください。

## (2) 指導者養成委員会

- ① 各研修の申込みは個人からの申込みではなく、団の担当者の方が、ホームページの申込みフォームから申し込んでください。(スカウトコース、課程別研修は除く)  
お手数をおかけ致しますが宜しくお願い致します。
- ② 4月2日の第75回ボーイスカウト講習会について、申し込みフォームの不具合がありましたこととお詫びいたします。

## (3) カブ・ビーバーラリー準備委員会

2月定例理事会で、2023年11月のカブ・ビーバーラリーの開催が決定しました。およそ10年ぶりの開催になります。

- ① 大会名称 第15回カブラリー・第6回ビーバーラリー  
“カブ・ビーバーラリー2023”

- ② 大会趣旨

カブビーバーラリーは、2012年の第13回茨城県カブラリー第4回ビーバーラリー以降、第14回カブラリー & 第5回ビーバーラリー(CBR2017)が台風により中止、その後コロナ感染症のために、ビーバースカウト、カブスカウトにスカウティングならではの活動のチャンスを与えられないまま10年間が経過してしまいました。

その間のスカウトの活動環境の変化、そして今般のコロナ感染症における「新しい生活様式」への対応など、これまでの「ボーイスカウトのやり方」「ボーイスカウトの伝統」としてきたものについて、大きな転換期を迎えています。また、スカウト人口の減少も顕著で、各隊は少人数の活動を余儀なくされ、合同活動など工夫しながら運動をつなげています。

そこで、大人数によるラリーを開催することでビーバー部門、カブ部門の活動へのプログラム面での支援を行うとともに、スカウト・保護者に魅力的な体験を与え、友達をこの運動に誘うきっかけとしたい。

- ③ 大会テーマ・マーク 公募とする(別紙)

- ④ 大会の形態 ラリー形式と運動会形式の折衷(午前・午後の二部制)

ラリー形式・・・日頃の隊活動の成果を持ち寄って発揮することにより、ボーイスカウト教育のポイントであるチームシステムや競争などを体感し、日々のスカウティングを高めていく原動力としたい。

運動会形式・・・大人数での活動の楽しさを実感するため、地区を基本にして、地区対抗または紅白対抗(複数の地区を合わせて紅組と白組に)で、体育館内で競技や応援を楽しむ活動としたい。

- ⑤ 開催場所 水戸市総合運動公園体育館(水戸市見川2256)及びその周辺

- ⑥ 開催日 2023年11月12日(日)

## V 2023年度日本連盟定型訓練のお知らせ(再掲)

### (1) WB研修所(茨城開催)・団委員研修所(埼玉開催)

#### ア 日程

- ・ スカウトコース 2023年5月3日(水)～6日(土) 土浦市青少年の家を予定
- ・ 課程別研修 2023年6月11日(日) 同上
- ・ 団委員研修所 2023年7月15日(土)～16日(日) 埼玉県内

## イ 取り組み方法

- ① 課題研修の課題の説明と配付
  - ・まず団委員長に相談しましょう。団委員長から、コミッショナーを紹介してもらい、コミッショナーから、課題研修のねらいや、各課題の意図するところを説明してもらいましょう。
- ② 課題研修への取り組み
  - ・まずは指定された書籍を読みます。
  - ・読み終わったら支援を受けるトレーナーに連絡し、指導を申し込みます。
  - ・書籍を読んで、自分が気づいた点、感じたこと、思ったことなどをまず話し、指導を受けます。
  - ・WB研修所課題のスキルトレーニングについては、実技を伴いますので、対面で認定を受ける必要があります。茨城県連盟では、スカウトコース前に地区ごとに事前研修を実施していますので、そちらに参加してください。
- ③ 履修認定
  - ・書籍の課題については、指導を受けた内容・感想等を、指定の「課題研修まとめ用紙」に記述します。
  - ・スキルトレーニングについては、地区主催の事前研修で該当するスキルトレーニングの項目についてトレーナーから認定をうけたのちに、指導を受けた内容・感想等を指定の「課題研修まとめ用紙」に記述します。
- ④ 研修所参加申込み
  - ・課題研修が修了したら、トレーナーに課題研修課題と指導者手帳にサインをもらいます。必要書類をそろえて期限までに地区コミッショナーにご提出ください。同時に、研修申込みフォームからの申し込みも忘れずに。

## (2) WB実修所・団委員実修所

### ア 日程

課程	期数	開設県連盟	期 間	場 所
BVS	47	日本連盟	9/15～18	那須野営場
CS	177	千葉県連盟	5/4～7	那須野営場
	178	京都連盟	9/15～18	静原野営場
BS	205	愛知連盟	5/3～7	新城・吉川野営場
	206	岡山連盟	5/3～7	布都美林間学校
	207	兵庫連盟	11/1～5	兵庫県立嬉野台生涯学習センター
VS	33	日本連盟	11/1～5	高萩スカウトフィールド
団	32	埼玉県連盟	7/15～17	埼玉県県民活動総合センター
	33	大阪連盟	11/3～5	新大阪ユースホステル
	34	福岡連盟	11/24～26	福岡県立社会教育総合センター

## イ 取り組み方法

WB実修所・団委員実修所の事前研修は「課題研究」と呼ばれています。そう「研究」です。その目的は、第二教程・基本訓練に参加する指導者が、研修コースの目標を達成するために、自隊・団の状況を分析し、短い期間において、効果的に学習を行うための事前学習です。自隊・自団の状況をよく分析するとともに、関係する書籍をよく読み、先輩指導者やコミッショナー、トレーナーの指導を受けて、自らのこれまでの隊運営・団運営の方法や自身の知識・スキルなどを評価し、課題を発見するためのものです。そのため、早めに行動を起こし、時間をかけて、じっくりと取り組んでください。また、多くの指導者に支援を依頼して下さい。

- ① 課題研究の課題の説明と配付
  - ・まず団委員長に相談しましょう。団委員長から、コミッショナーを紹介してもらい、コミッショナーから、課題研究のねらいや、各課題の意図するところを説明してもらいましょう。
- ② 課題研究への取り組み
  - ・課題は各部門ごとに異なります。コミッショナーから説明された、各課題の意図をよく理解して取り組みましょう。わからないことがあったら、コミッショナーに相談してください。
- ③ 履修認定
  - ・課題研究については、各課題ごとに見出しをつけるなどして分かり易くファイルしてください。
  - ・ファイルをトレーナーに提出して履修認定を受けます。
- ④ 研修所参加申込み
  - ・課題研究が修了したら、トレーナーに課題研究提出用紙と指導者手帳にサインをもらいます。必要書類をそろえて期限までに県連盟事務局に提出します。県コミッショナーの審査を経て、課題研究が承認されれば県連盟事務局からの申し込みとなります。

# ワクワク自然体験あそびをひろげよう！

2020年度より日本連盟では子どもたちの自然体験の機会を広げる活動として「ワクワク自然体験あそび」の開催を推進しています。この事業は、子どもたちにボーイスカウト流の自然体験のプログラムを体験してもらい、自然に親しむ心を育てることを目的にしています。また、公益財団法人としての社会貢献やボーイスカウトの認知度を高める広報活動としての役割もあります。また、その活動の中でスカウト運動の理解を深めてもらい、ゆくゆくはこの運動への参加を促すという効果も期待しているところです。

茨城県連盟では、2022年度からボーイスカウト茨城県連盟維持財団より組織拡充費として助成金をいただいております。各団・地区がワクワク自然体験あそびを含めた組織拡充の活動に対して、資金面の支援をしています。また、日本連盟のワクワク自然体験あそびとして登録した活動に対しては、日本連盟からも5,000円/会場の補助があります。

「ワクワク自然体験あそびではスカウト募集を前面にはいけないと言われるので、メリットがない」と思われる団もあるようですが、「ボーイスカウト体験入団」と「ワクワク自然体験あそび」というタイトルで、どちらが参加者が集まるでしょうか。申込みアンケートを見ると「ボーイスカウトを知らない」「ボーイスカウトという名前は聞いたことがあるが、どんなことをしているのか知らない」という保護者が圧倒的に多いです。まずは多くの子どもたちに、ボーイスカウトというものを知ってもらわないと、「ボーイスカウト体験入団」と呼びかけても、希望者は集まらないでしょう。

ワクワク自然体験あそびでは、スカウト募集を前面にして開催はできませんが、スカウト運動の理解を深めるための説明を入れることは問題ありません。この体験でスカウト活動の良さを感じた保護者・子どもに対して、次回の隊集会の見学をお知らせしたり、一歩進んだ入団体験を勧めたりすることで、新規加盟登録者の増加につなげた団は全国に多数あります。その時には入らなくても、その後のフォローアップをしっかりやることで、団が期待する募集効果が得られると思います。ぜひ、来年度は取り組んでみませんか。



## ■ 実施会場数と参加した子どもの数 / ビーバースカウト、カブスカウトの新規加盟登録者数

	2020年度		2021年度		2022年度
会場数	512会場	→	328会場	→	776会場
参加児童数	11,753人	→	6,366人	→	10,469人 (申込者数)
ビーバースカウトの 新規加盟登録者数	3,777人	+568人	4,345人	+116人	4,461人